

**令和3年度  
四国森林管理局の重点取組事項**

**令和3年4月  
四国森林管理局**

# 目次

## 四国森林管理局について

・・・2

- 四国全体の面積の約1割に相当する18.2万haの国有林を管理しています

## 人材育成の取組

・・・3

- 現地検討会の開催など、林業事業体の育成に取り組めます
- 森林総合監理士活動の推進・活性化に取り組めます
- 市町村の林務行政への技術的支援を行います
- 将来の森林・林業を担う人材育成を支援します



## 林業成長産業化への貢献 ～造林の低コスト化と木材生産の収益性の向上～

・・・5

- 造林の低コスト化に向け、伐採と造林の一貫作業システム、コンテナ苗の活用、下刈りの省力化、ICTの活用、集約化試験団地での実証などに取り組めます
- 木材生産の収益性の向上を図るため、列状間伐やシステム販売の実施、民国連携した木材供給等に取り組めます



## 林業成長産業化への貢献～獣害対策の推進～

・・・8

- 囲いワナ等によるシカ捕獲や四国森林管理局が開発した「こじゃんと1号」、「こじゃんと2号」の普及・PRに取り組むなど、シカ被害対策を推進します
- 防護柵及び忌避剤を用いた試験の実施など、ノウサギ被害対策を推進します



## 国土強靱化 ～災害に強い国土づくり～

・・・9

- 平成30年7月豪雨の被害からの復旧として、徳島県三好市及び高知県大豊町において、吉野川上流地区民有林直轄治山事業に新たに着手します
- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として、災害時に備え、迂回路としても活用可能な特に重要な林道の整備・強化等を推進します



## 森林の多面的機能の充実 ～国民に親しまれる森林や資源の活用～

・・・10

- 日本美しい森 お薦め国有林の魅力発信や、観光・産業資源への資材供給に取り組めます
- 多様な森林づくり“見える化プロジェクト”として、育成複層林施業及び針広混交林への誘導等多様な森林づくりに取り組めます



## 令和3年度 四国森林管理局 県別主要事業量・お問い合わせ先

・・・11

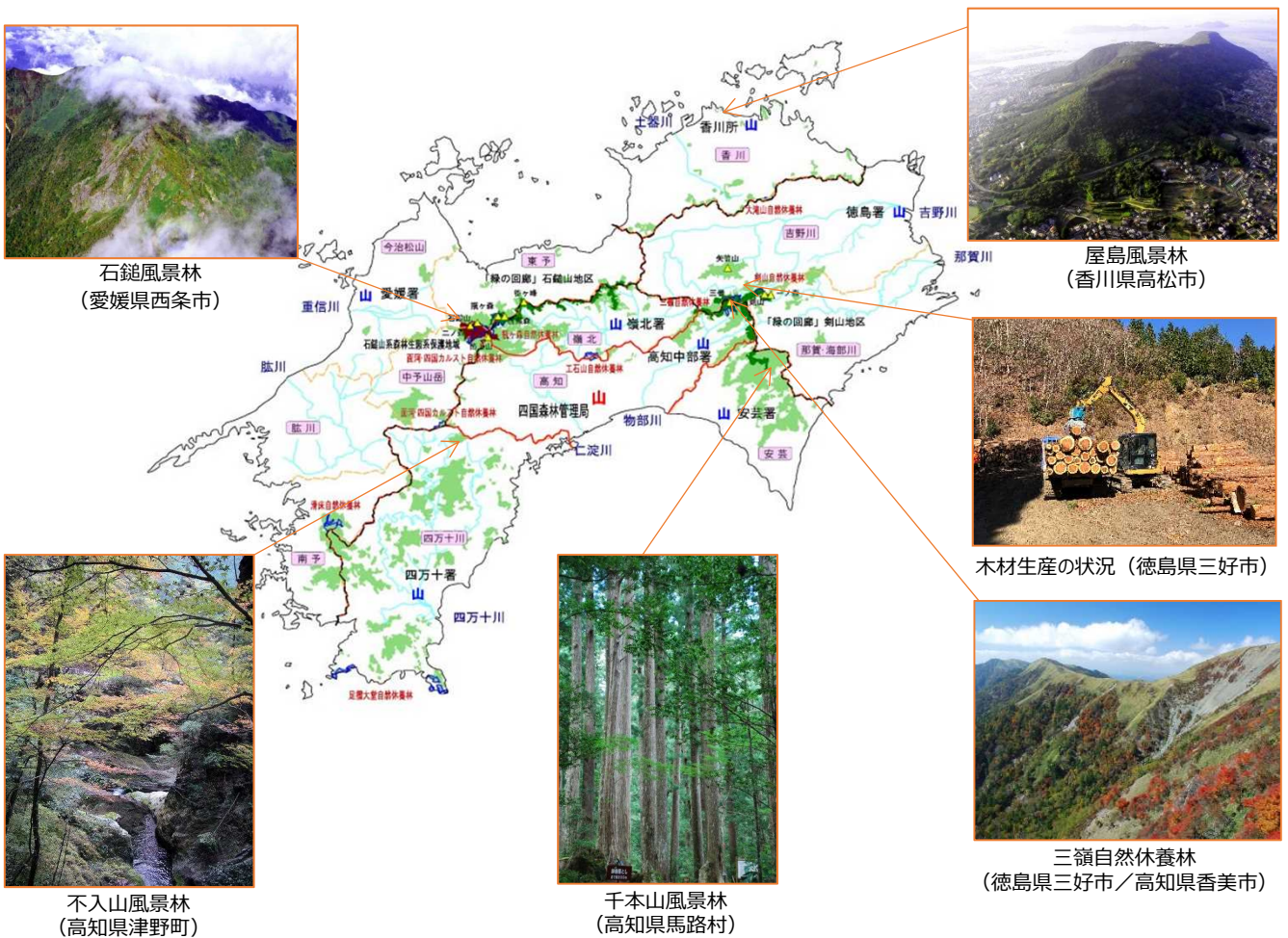
# 四国森林管理局について

四国森林管理局は、林野庁の出先機関の1つで、四国4県にまたがる国有林野等約18.2万ha（四国全体の1割に相当、香川県とほぼ同じ面積。）を管理しています。

藩政・明治時代から植林が進められてきたことから、**四国の国有林の約7割がスギ、ヒノキを主体とする人工林**となっています。多くの人工林が資源として利用可能な時期となる中で、森林の**公益的機能を発揮しつつ、豊かな資源の循環利用**を図り、**健全な森林の次世代への継承**とともに、地域の森林・林業を担う**人材の育成**や**効率的な作業システムの確立**が重要な課題です。

また、**剣山や三嶺、石鎚山**など、原始的な自然が残された森林は、「**保護林**」等に指定し、**生物多様性の保全**にも努めています。

四国森林管理局は、その**組織・人材・資源を最大限に活用**し、地域の林業成長産業化や森林の公益的機能の発揮に引き続き貢献し、森林・林業・木材産業の活性化を通じた**地域経済の活性化**への貢献にも努めてまいります。



四国の森林面積、森林率

	国有林面積	森林面積	森林率	県土面積
徳島県	1.6万 ha	31.5 万ha	76%	41.5 万ha
香川県	0.8万 ha	8.8 万ha	47%	18.8 万ha
愛媛県	3.7万 ha	40.1 万ha	71%	56.8 万ha
高知県	12.1万 ha	59.5 万ha	84%	71.0 万ha
四国計	18.2万 ha	139.9 万ha	74%	188.1 万ha



注) 平成29年3月31日現在

# 人材育成の取組

## 🌳 現地検討会の開催など、林業事業体の育成に取り組めます

四国森林管理局では、当局職員のみならず、林業事業体の育成や、市町村林務担当者のスキルアップに向け、**現地検討会**を開催しています。

現地検討会は、生産性向上や安全性を考慮した**列状間伐**の実施状況、**架線集材**技術の伝承、**ICT**の活用など、四国の特徴を踏まえた内容として実施していくこととしています。

現地検討会の開催予定（実施の詳細については、四国森林管理局Webサイトでお知らせします。）

No.	時期	テーマ	場所	主催
1	6月	災害時情報収集演習	徳島署管内	徳島森林管理署
2	6月	架線集材におけるドローンを活用した資材運搬作業の現地検討会	安芸署管内	安芸森林管理署
3	8月	ドローン飛行現地検討会	徳島署管内	徳島森林管理署
4	9月	QGISの講習会	徳島署管内	徳島森林管理署
5	9月	ナラ枯れ被害防止対策現地検討会	四万十署管内	四万十森林管理署
6	10月	架線系搬出システム現地検討会	愛媛署管内	愛媛森林管理署
7	10月	LPWAを活用したIOT捕獲通知システム現地検討会	高知中部署管内	高知中部森林管理署
8	10月	列状間伐に関する現地検討会	徳島署管内	徳島森林管理署
9	10月	複層林における間伐実施の影響検討会	嶺北署管内	計画課
10	11月	列状間伐実施後10年経過した団地での現地検討会	四万十署管内	四万十森林管理署
11	11月	列状間伐実施後、1回目15年経過・2回目3年経過した団地での現地検討会	高知中部署管内	嶺北森林管理署 高知中部森林管理署
12	11月	列状間伐に関する現地検討会	香川所管内	香川森林管理事務所
13	1月	多様な森づくり“見える化”プロジェクト現地検討会	四万十署管内	四万十森林管理署



車両系集材に関する現地検討会  
(令和3年1月)



ドローンの活用に関する  
現地検討会  
(令和2年11月)



大型ドローンによる  
苗木運搬の現地検討会  
(令和3年2月)



列状間伐の現地検討会  
(令和2年12月)

## 🌳 森林総合監理士（フォレスター）活動の推進・活性化に取り組めます

各市町村の林務行政への技術的支援の推進にあたり、四国4県及び森林管理局署の森林総合監理士が密接に連携していくため、令和元年に設置した**四国森林総合監理士連絡会**の定期的な会議開催、研修会等を実施します。



令和元年度の意見交換会

## 市町村の林務行政への技術的支援を行います

森林経営管理制度、森林環境譲与税の制度がスタートし、市町村の林務行政の役割が高まっています。

平成30年度より四国森林管理局職員の研修を活用した「**市町村林業担当者実務研修**」を実施しており、令和3年度は、森林の見方や、森林経営管理制度の講義、市町村の林業担当課長等による特別講義等の実施を予定しています。

また、四国森林管理局では、「**市町村への支援ツール**」として、職員が市町村に、局・署等が実施できる**技術支援**の内容についてまとめた資料をお配りしています。

さらに、今年度から、各市町村へのアンケート結果をふまえ、**市町村の林務行政初任者を対象**にした、市町村のニーズを踏まえた「**国有林セミナー**」（仮称）を各地で**新たに実施**します。



森林・林業の課題の解決を応援します  
～市町村への支援ツール～

市町村林業担当者実務研修の予定（実施の詳細については、四国森林管理局Webサイトでお知らせします。）

No.	研修名	主な研修内容	研修期間 (日数)	市町村職員 募集人数
1	基礎研修 (基礎全般)	森林・林業全般に係る基礎的な事項について、講義・実習を行います。	5/31～6/8 (7日)	5名程度
2	基礎研修 A (森林の見方)	森林の見方、GPS、境界検測、生物多様性の保全に配慮した森林施業等に関する講義・実習を行います。	7/5～7/9 (5日)	5名程度
3	基礎研修 B (森林の育成)	主に造林・育林関連（間伐、森林被害、治山事業、保安林制度等）に関する講義・実習を行います。	8/23～8/27 (5日)	5名程度
4	基礎研修 C (森林の収穫)	主に収穫調査業務（伐採前の材積量の調査）に関する講義・実習を行います。	10/18～10/22 (5日)	5名程度



市町村林業担当者実務研修



「こじゃん」と1号（▶P8）を活用した獣害対策研修



市町村を訪問し意見交換

## 将来の森林・林業を担う人材育成を支援します

森林・林業を担う人材の育成に向け、四国森林管理局では、**高校、大学等の学生・生徒**を対象にした**実習等を開催**します。

- ・ 人材育成協定に基づき、高知県立林業大学校、とくしま林業アカデミーに対し、講師の派遣や国有林を活用した現地実習等を実施します。
- ・ 四国の森林・林業関係高校、大学等に対し、講師派遣やドローン等の現地実習、生産現場見学等により支援します。
- ・ インターンシップについては今年度も受け入れ予定です。詳細は6月頃に公表予定です。



高知県立林業大学校の学生を対象としたシカネット設置実習  
(令和2年11月)



愛媛大学との相互連携協定に基づく「山地災害防止論」講義  
(令和2年10月)



高校生を対象にしたドローン講習会  
(令和2年11月)



インターンシップの受け入れ  
(令和2年9月)

# 林業成長産業化への貢献 ～造林の低コスト化と木材生産の収益性の向上～

## 林業の成長産業化に向けて

豊かな森林資源の循環利用を図り、健全な森林を次世代に継承していくことが重要な課題となっています。  
**造林の低コスト化と木材生産の収益性の向上**を図り、**安定的に木材を供給**するとともに、その**技術**について、**民有林へ普及**を図ってまいります。

具体的には、**伐採と造林の一貫作業システムの推進**、**コンテナ苗の活用**、**下刈りの省力化**、**I C Tの活用**、**集約化試験団地での実証**などに取り組みます。

また、木材生産の収益性の向上を図るため、**列状間伐**や**システム販売**の実施、**民国連携**した木材供給等に取り組みます。



伐採と造林の一貫作業システムの推進 (▶ P 6)



民国連携による木材の安定供給 (土場の整備) (▶ P 7)



(建築物等に利用)

使う



列状間伐の実施 (▶ P 6)

収穫する

主伐

「伐って、使って、植える」  
循環利用を推進

林業の成長産業化

育てる

間伐

植える

植栽



コンテナ苗の活用 (▶ P 6)



高性能林業機械の活用 (▶ P 6)

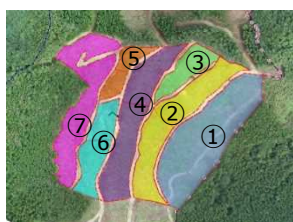


下刈りの省力化 (冬下刈り) (▶ P 6)

下刈り



I C Tの活用 (▶ P 7)



様々な試験を行う  
「集約化試験団地」での実証 (▶ P 7)



早生樹種であるコウヨウザンの造林技術の実証と苗木生産体制の確立 (▶ P 6)

## 🌲 伐採と造林の一貫作業システム、複数年契約

伐採・造林コストの2～3割削減を目指し、伐採・搬出から植栽の作業を一括発注する「一貫作業」や、これらの作業を複数年（3年以内）で発注する「複数年契約」を推進しています。



架線による木材と枝条の搬出



搬出後、架線を活用し苗木を運搬

架線集材による伐採と造林の一貫作業システム（嶺北署）

## 🌲 コンテナ苗の活用

通年植栽が可能で伐採・造林の一貫作業に欠かせない**コンテナ苗**を積極的に導入しており、令和3年度は、約49万本を使用予定です。

また、コンテナ苗の安定生産に資するため、令和3～5年度の3ヶ年のコンテナ苗の森林管理署別・樹種別の需要見通しを公表しています。



コンテナ苗の育成状況



生分解性シートを活用したコンテナ苗

## 🌲 下刈りの省力化

作業負担が大きい夏場の下刈り作業を省力化し、作業員の労働負担軽減、作業効率の向上を図るため、**下刈り回数**の削減や、全国に先駆けて**冬期の下刈り**（11～12月）を推進しています。

熱中症やハチの刺傷災害防止対策にもなることから、作業安全面からも有効であると考えています。



冬下刈りの普及に向けた検討会を開催（高知中部署）



冬下刈りの実施状況

## 🌲 列状間伐や高性能林業機械の活用

四国森林管理局では、生産性向上と労働安全の確保に向け、**列状間伐**や**高性能林業機械**の活用を推進しています。さらに林業事業者や自治体職員等を対象とした現地検討会を開催しています。



高性能林業機械による間伐（香川所）



列状間伐を実施した森林（香川所）

## 🌲 コウヨウザンによる造林技術の実証と苗木生産体制の確立

コウヨウザンは、生長が早く、萌芽更新で生長するため造林コストの大幅削減が期待できます。高知県土佐清水市の国有林に、昭和7年に植栽し第2世代が成林する国内唯一のコウヨウザンの試験地（0.3ha）があることも踏まえ、高知県や森林総研林木育種センターと連携し、

- ① 試験地から採取した種子・挿し穂による**コンテナ苗の生産体制の構築**や、
- ② 国有林に毎年継続して一定数量を植栽し、データ収集を行い、コウヨウザンの**育成技術の実証**を行っています。



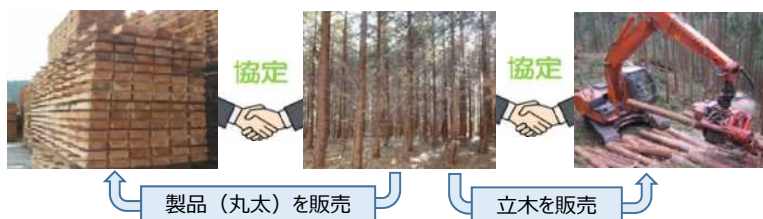
コウヨウザンの萌芽更新（四万十署）

## 木材の安定供給の推進

国産材の安定的な供給の実現に向けて、国有林では、**協定締結によるシステム販売**を推進しています。

森林管理局と加工製材業者の協定締結による国有林材(製品)の安定供給システム販売と、素材生産業者との協定締結による国有林材(立木)の安定供給システム販売を推進しています。

また、今後のJAS機械等級区分(強度区分)に応じた供給の実現に向け、丸太の強度測定を数カ所の山元で実施し、強度データを蓄積します。



■ 四国森林管理局の国有林材の素材供給量 (万m)

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2 見込	R3 計画
製品販売	16.7	17.5	18.1	18.1	17.6	17.6	18.6
うち、 システム販売	8.6 (51%)	12.0 (69%)	12.5 (69%)	11.8 (65%)	12.0 (68%)	12.3 (70%)	13.0 (70%)
立木販売 (システム)	-	-	-	0.35	0.64	0.05	0.23

## 民国連携による木材の安定供給

民有林材と国有林材を山元に近い場所に集積し、搬出コストの縮減や大ロット販売に向け、伊尾木土場(安芸市)、松葉川土場(四万十町)、竹島土場(四万十市)を整備し、**民国連携して木材を出荷**しています。

また、四国内で19箇所の**森林整備推進協定**を締結しています。民有林と国有林が連携して集約化を行い、林道や作業道を民有林・国有林で計画的に利用することで、搬出が困難であった民有林材の出材の増加や、木材市場までの運搬コストの削減が期待されます。



竹島土場(高知県四万十市)



興津共同施業団地(四万十町)での  
現地検討会(令和2年10月)

## ICTの活用

各種事業の実施状況や災害発生時等の迅速な現地状況の確認等に**ドローン**、**森林GIS**等のICTを活用し、**業務の効率化**を推進しています。

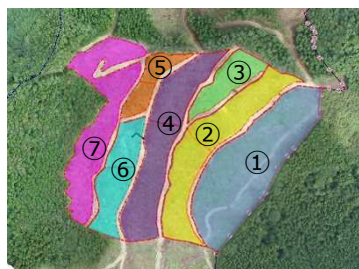
また、さらなる効率化・省力化を図るため、ドローンを活用した森林資源調査方法の検討や、スマホアプリを活用した丸太の材積の測定の実証に取り組みます。



ドローンを活用した森林の調査

## 集約化試験団地での実証

林業の低コスト化や新しい形の林業の実現に向けた様々な取組を1箇所のフィールドに集めた「**集約化試験団地**」を鷹山国有林(香川県高松市塩江町)、葛籠谷黒滝山国有林(高知県いの町戸中)に設置し、様々な試験を行っています。



【試験区①】育種センター・香川県試験地

【試験区②】大苗と施肥を使用した低コスト造林

【試験区③】早生樹の造林技術の確立

【試験区④】下刈時期の違いによる成長や作業工程の比較

【試験区⑤】地拵の有無の比較(普通苗)

【試験区⑥】地拵の有無の比較(大苗)

【試験区⑦】単木保護資材による獣害対策の比較

鷹山国有林集約化試験団地では、試験地を7つに区分し、様々な試験を行っています。



葛籠谷黒滝山国有林(高知県いの町戸中)



# 林業成長産業化への貢献～獣害対策の推進～

## シカ被害対策の推進

深刻化するシカ被害に対応するために、罠いワナ等によるシカ捕獲を職員実行及び委託で実施するほか、地域と連携した捕獲体制の整備に向け、石鎚山系をはじめ、各地で設置される協議会に参画します。

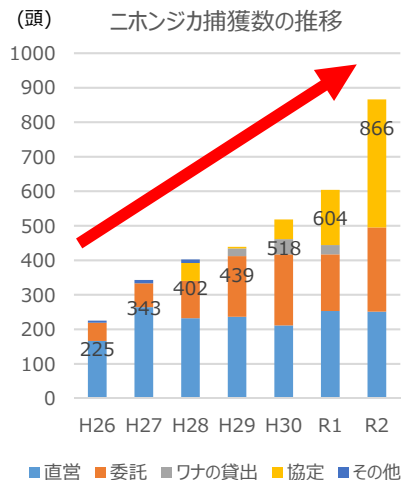
また、四国森林管理局が開発した「こじゃんと1号」、「こじゃんと2号」の普及・PRに取り組みます。さらに、シカ捕獲用ワナの巡回作業の軽減を図るため、無線やモバイル通信を活用し、ワナ作動をメールで通知するシステムの実証試験に引き続き取り組みます。



シカによる食害 (愛媛署)



くりわなによるシカ捕獲



## 小型罠いワナ「こじゃんと1号」、「こじゃんと2号」

低コストで軽量、組立・解体が容易な罠いワナ「こじゃんと1号」「こじゃんと2号」を開発し、普及・設置指導等を通じてシカの捕獲に取り組んでいます。

- ・令和3年1月で全国で314台導入
- ・「こじゃんと1号・2号」でシカ1,143頭を捕獲 (H23年度～R2年12月末 四国局管内)



「こじゃんと1号」設置 (YouTube)



こじゃんと1号



こじゃんと2号

## LPWAを利用した「ワナ見回り」の軽減

有害鳥獣がワナに捕獲されるとLPWA（低消費広域通信）とモバイルデータ通信を介して瞬時に狩猟者等の携帯端末等へ通知されるシステムを実証導入しており、令和3年度は高知中部森林管理署管内にて実証に取り組みます。

携帯圏外エリアに設置したワナからでも信号を受信でき、ワナ巡回の負担軽減、捕獲の効率化に加え、行政担当者の事務の効率化が期待されます。



## ノウサギ被害対策の推進

近年、シカによる食害と併せてノウサギによる植栽木への被害が顕著に増加していることから、被害防止対策の確立を目指すことを目的に、防護柵及び忌避剤を用いた試験を実施しています。

森林技術・支援センターでは、ノウサギ捕獲用の小型箱ワナを開発するとともに、従来から使用されているくりわなによる捕獲技術の向上及び捕獲技術の伝承のためのビデオ動画を製作し公開しました。



集約化試験団地 (▶ P 7) において、シカとノウサギ被害防止兼用ネットの開発の取組を実施しています。(高知県の町戸中)



ノウサギくりわな設置方法 (YouTube)

## 吉野川上流地区民有林直轄治山事業の新規着手

平成30年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に広い範囲に甚大な被害を及ぼした台風7号及び梅雨前線等（平成30年7月豪雨）の影響により、四国地方においても各地で被害が発生しました。

徳島県三好市及び高知県大豊町では、町道・林道等が流出したり、大量の土砂が河川に流入するなどの被害がありました。

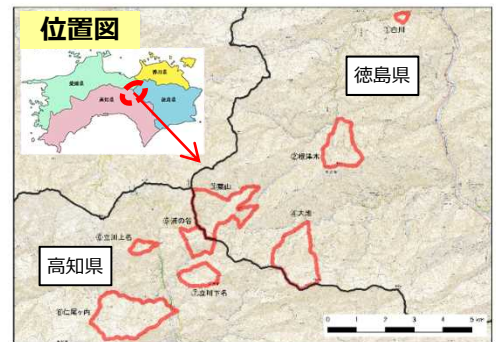
この被害の復旧にあたっては、規模が著しく大きい上に両県を跨ぐ広範囲であり、かつ高度な技術を必要とすることから、徳島県・高知県の要望を受けて、令和3年度より吉野川上流地区民有林直轄治山事業として四国森林管理局が新たに対策を行います。



根津木区域（徳島県三好市）



立川下名区域（高知県大豊町）



### 【事業計画期間】

令和3年度～令和12年度（10年間）

### 【予算措置状況】

全体計画額：5,800百万円

R3当初予算：520百万円

（R3未進捗見込 9%）

### 【主要工事計画】

溪間工 72基

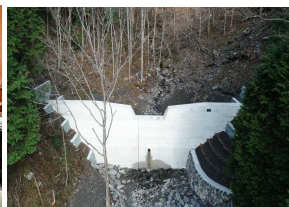
<R3施工予定 6基>

山腹工 36.86ha

<R3施工予定 0.25ha>



徳島・高知両県知事からの要望



溪間工のイメージ



山腹工のイメージ

## 基幹的な路網整備の推進

効率的な林業生産活動に向け、基幹となる林道や林業専用道の新設・改良・維持管理を実施します。

また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」として、災害時に備え、迂回路としても活用可能な特に重要な林道の整備・強化等を推進します。



国有林林道の整備  
（窪川林道・四万十署）

## 関係機関との連携等

- 令和2年度に引き続き、山地防災初動時における情報共有の円滑化を目指し、四国山地災害初動対応等強化会議を行うなど、関係機関と連携し取り組みます。
- 現地検討会や技術交流会の開催など、治山技術者の育成に取り組みます。
- 森林土木工事において、工程管理や監督業務等において、オンラインによる受発注者間の情報共有システム、UAV等のICTの有効活用を進め、双方の負担軽減や安全確保に取り組みます。

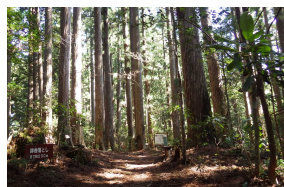


令和2年度四国山地災害初動対応等強化会議（Web会議）

# 森林の多面的機能の充実 ～国民に親しまれる森林や資源の活用～

## 豊かな自然を育む森林の観光・産業資源としての活用

四国局内に5箇所選定されている「日本美しい森 お薦め国有林」の魅力発信に向け、遊歩道の整備などに取り組みます。



千本山風景林 (高知県馬路村)



工石山自然休養林 (高知県高知市、土佐町)



滑床自然休養林 (愛媛県宇和島市、松野町)



石鎚風景林 (愛媛県西条市)



剣山自然休養林 (徳島県三好市、つるぎ町、那賀町)

### 「日本美しい森 お薦め国有林」

優れた自然景観を有するなど、観光資源としての潜在的魅力が認識されるレクリエーションの森で、平成29年4月に、全国で93箇所認定されています。



全国93箇所！「日本美しい森 お薦め国有林」

「祖谷のかずら橋」(徳島県三好市)の架替資材「シラクチカズラ」の確保に向け、香川大学農学部、徳島県三好市、徳島森林管理署が締結した協定(平成30年2月)に基づき、三者が連携・協力して、国有林を活用しながら、シラクチカズラの資源確保と果実の活用に向けた取組を推進します。

なお、令和3年の架替には、高知県大豊町の国有林から資材を供給しました。



大学、市と協働したシラクチカズラの植栽

生産量全国一を誇る土佐備長炭の原料であるウバメガシの資源確保にむけ、令和元年度より、高知県森林技術センター、地元自治体、備長炭生産組合等と連携し、大月町の国有林において択伐・天然更新による取組や、東洋町の国有林において植樹祭を実施し、引き続き、森林を育成します。



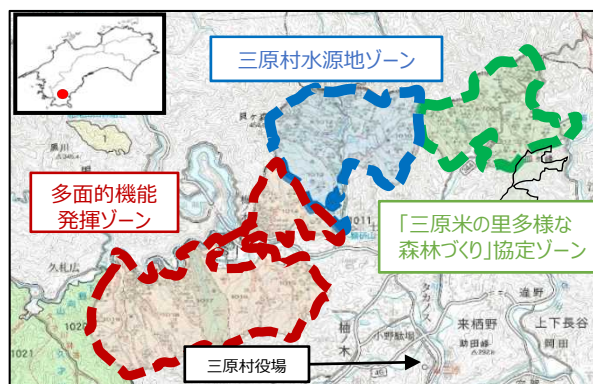
令和2年にウバメガシの植樹祭を実施

## 多様な森林づくり“見える化プロジェクト”

四国森林管理局では多様で健全な森林づくりに重点的に取り組むこととしており、四万十森林管理署管内の高知県三原村の国有林(765ha)を多様な森林づくり“見える化プロジェクト”の区域として設定し、天然力を活用した育成複層林施業及び針広混交林への誘導など多様な森林づくりに取り組みます。

令和3年度は、多面的機能発揮ゾーンにあるスギ・ヒノキ林を帯状に伐採(複層伐)する予定です。

“見える化プロジェクト”では、森林・林業に携わる方々が様々な森林施業の方法を現地で見られるようにしていきます。



令和3年度に行う育成複層林施業のイメージ

伐採幅は樹高の2倍程度



## (参考) 令和3年度 四国森林管理局 県別主要事業量

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	計
伐採量 (収穫量)	主伐	44千㎡ (41千㎡)	18千㎡ (10千㎡)	58千㎡ (60千㎡)	478千㎡ (404千㎡)	598千㎡ (605千㎡)
	間伐	12千㎡ (11千㎡)	9千㎡ (7千㎡)	78千㎡ (82千㎡)	215千㎡ (212千㎡)	313千㎡ (311千㎡)
木材供給量	製品(丸太)	7千㎡ (6千㎡)	3千㎡ (4千㎡)	47千㎡ (44千㎡)	128千㎡ (121千㎡)	186千㎡ (175千㎡)
	立木	18千㎡ (14千㎡)	5千㎡ (8千㎡)	29千㎡ (31千㎡)	169千㎡ (153千㎡)	220千㎡ (205千㎡)
森林整備	植栽(地権者含む)	0ha (3ha)	18ha (11ha)	39ha (30ha)	198ha (227ha)	255ha (271ha)
	下刈り	7ha (4ha)	21ha (19ha)	66ha (89ha)	464ha (366ha)	557ha (478ha)
	間伐	74ha (66ha)	57ha (68ha)	504ha (566ha)	1,753ha (1,784ha)	2,388ha (2,483ha)
林道整備	新設	549m (911m)	240m (355m)	340m (240m)	1,442m (1,272m)	2,571m (2,778m)
治山事業	国有林野内 直轄治山	3.9億円 (2.8億円)	1.0億円 (1.3億円)	3.6億円 (3.7億円)	21.5億円 (19.1億円)	30.0億円 (26.9億円)
		9箇所 (5箇所)	2箇所 (4箇所)	8箇所 (8箇所)	36箇所 (35箇所)	55箇所 (52箇所)
	民有林野内 直轄治山	12.3億円 (12.3億円)	-	-	22.6億円 (17.1億円)	34.9億円 (29.4億円)
		18箇所 (18箇所)	-	-	20箇所 (15箇所)	38箇所 (33箇所)
計	16.2億円 (15.1億円)	1.0億円 (1.3億円)	3.6億円 (3.7億円)	44.1億円 (36.2億円)	64.9億円 (56.3億円)	
		27箇所 (23箇所)	2箇所 (4箇所)	8箇所 (8箇所)	56箇所 (50箇所)	93箇所 (85箇所)

注) 事業量は、令和3年度当初予定の事業量で、令和2年度からの繰越事業量を含む。( )内は令和2年度当初予定の事業量で、令和元年度からの繰越事業量を含む。  
注) 各事業量は四捨五入により計が一致しない場合がある。

## お問い合わせ先

名称	所在地	電話番号	FAX番号
四国森林管理局	〒780-8528 高知県高知市丸ノ内1-3-30	088-821-2210	088-821-4834
徳島森林管理署	〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1	088-637-1230	088-666-1818
香川森林管理事務所	〒761-8064 香川県高松市上之町2-8-26	087-866-6622	087-867-3043
愛媛森林管理署	〒791-8023 愛媛県松山市朝美2-6-32	089-924-0550	089-924-0598
四万十森林管理署	〒787-0003 高知県四万十市中村丸の内1707-34	0880-34-3155	0880-35-5310
嶺北森林管理署	〒781-3601 高知県長岡郡本山町本山850	0887-76-2110	0887-76-3886
高知中部森林管理署	〒781-4401 高知県香美市物部町大栃1539	0887-58-3131	0887-58-2449
安芸森林管理署	〒784-0044 高知県安芸市川北乙1773-6	0887-34-3145	0887-34-3147
森林技術・支援センター	〒780-8528 高知県高知市丸ノ内1-3-30	088-821-2250	088-821-4839
四万十川森林ふれあい推進センター	〒787-1602 高知県四万十市西土佐西ヶ方586-2	0880-31-6030	0880-31-6031

編集・発行：四国森林管理局

<http://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/>